

粉砕物の安定性評価

品目：メロキシカム錠 10mg 「タイヨー」

検体：M6KB2

検体	性状	定量 ^{注1)} (%)
試験開始時	淡黄色の粉末であった。	-
25 75%RH 遮光開放 2 週間	淡黄色の粉末で、一部塊があった。	98.7
25 75%RH 遮光開放 4 週間	淡黄色の粉末で、一部塊があった。	99.3

注 1) 試験開始時を 100 とした残存率で示した。

結論

粉砕物は、25 ・75%RH 遮光開放で吸湿して一部塊となったが、塊は固化しておらず、軽く押すことで粉末となるものであった。これより、粉砕物の安定性は問題ないと判断した。ただし、本品を粉砕することは適した使用方法ではない。粉砕が必要な場合には、湿気を避けて保管し、速やかに使用することが望ましい。